

下町台東から全世界をおもてなし

「台東区オリンピック・パラリンピック教育」

2020年東京オリンピック・パラリンピックを支える子供たち

台東区は、世界でも有数の文化集積地である上野の山や、江戸時代からの歴史や伝統が息づく浅草などの街を擁し、国外からの来街者も多く、年間4500万人以上の観光客が訪れる国際文化都市です。本区では東京オリンピック・パラリンピック大会推進本部を設置し、本区の魅力のさらなる向上を図る取り組みを全庁的に推進しているところです。台東区教育委員会では、東京都大会開催を子供たちの豊かな成長の好機と捉え、おもてなしの心をもって自他を尊重し合い、将来への夢を抱き、地域や社会に貢献できる子供たちを育成するために、オリンピック・パラリンピック教育を推進することとしました。

羅針盤としての「台東区オリンピック・パラリンピック教育プラン」

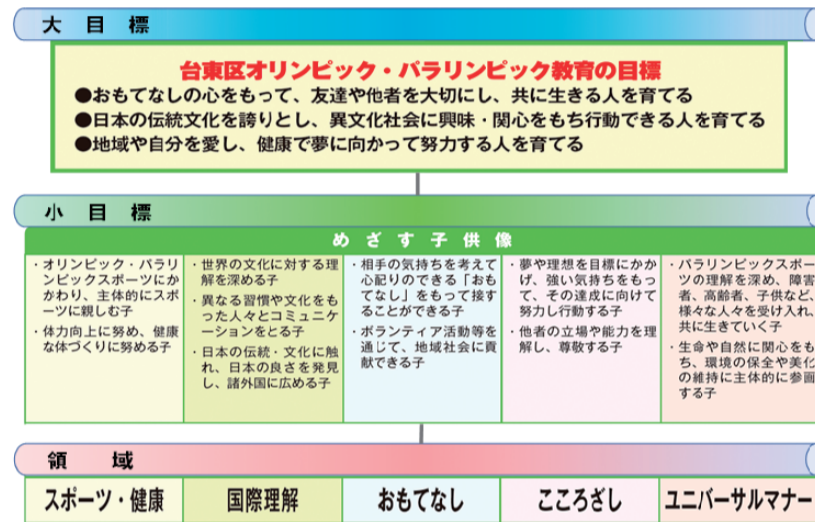
すべての学校でオリンピック・パラリンピック教育を推進していくためのミニマムスタンダードとして、区独自の「台東区オリンピック・パラリンピック教育プラン」(図表)を平成27年2月に策定しました。

オリンピック・パラリンピック教育の目標として次の3点を掲げています。

- ① おもてなしの心をもって、友達や他者を大切にし、共に生きる人を育てる
- ② 日本の伝統文化を誇りとし、異文化社会に興味・関心をもち行動できる人を育てる
- ③ 地域や自分を愛し、健康で夢に向かって努力する人を育てる

また、本プランでは、この目標を達成するために「めざす子供像」を考え、台東区の地域性を生かしながら、「スポーツ・健康」「国際理解」「おもてなし」「こころざし」「ユニバーサルマナー」の5つの領域を設定しています。5つの領域に基づいてオリンピック・パラリンピック教育に取り組むことで、各学校の特色を生かしながら、計画的かつ系統的に教育実践を進めています。

台東区オリンピック・パラリンピック教育プランの概要



オリンピック・パラリンピックで育つ子供たち

今年度より台東区では、教育委員会と小・中学校が連携し、台東区オリンピック・パラリンピック教育推進委員会を設置しています。その委員会を5つの領域の作業部会に分け、台東区のオリンピック・パラリンピック教育の一層の充実に資する教育学習プログラムの開発と検証に取り組みました。

◆ 台東区のオリンピック・パラリンピック教育プログラム (一部掲載)

<p>スポーツ・健康</p> <p>準備運動にコーディネーショントレーニングを取り入れたり、体育の「体づくり運動」とオリンピック種目の動きの関連性をしめしたりしたサーキット形式の学習プログラムを作成しました。</p> 	<p>国際理解</p> <p>日本の伝統文化に直接触れることで得た感動や発見を基に、日本の文化について調べました。外国の方に知ってほしいことを自分の言葉で伝えることに取り組みました。</p> 	<p>おもてなし</p> <p>米を中心とした日本の食文化を知り、伝統的な食について学習します。「和食」の基礎知識を身に付けることで、外国の方をもてなしたり、外国の食文化に関心をもてるようにしたりしています。</p> 	<p>こころざし</p> <p>区独自のこころざし教育副読本「こころざし高く」を活用し、偉人の生き方や規範意識、努力する心を学びます。オリンピック・パラリンピアン資料から夢に向かい努力する大切さに気付きました。</p> 	<p>ユニバーサルマナー</p> <p>身近にある「ありがとう」を色紙にまとめて発表し、他者を大切にすることを考えました。障害者、高齢者などの理解の学習と合わせながら、様々な人々に接するユニバーサルマナーの育成を目指しています。</p> 
--	--	--	--	---

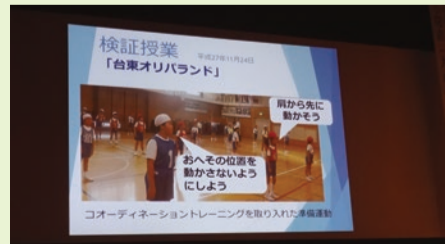
台東区オリンピック・パラリンピック教育実践発表会

平成28年2月4日(木)台東区生涯学習センターミレニアムホールにおいて台東区オリンピック・パラリンピック教育実践発表会を開催し、オリンピック・パラリンピック教育の取り組みの一端を報告しました。東京都中から多くの教育関係者、報道関係者にお集まりいただき、盛大に終えることができました。

台東区のオリンピック・パラリンピック教育は、2020年東京大会開催後もその精神を残し、地域・社会を担う人材を育成することを目的としています。オリンピック・パラリンピック教育のさらなる充実に図り、これからの未来を担う心豊かなたくましい子供たちを育成していきます。

台東区の小・中学校の先生によるオリンピック・パラリンピック学習プログラムの発表

◆ スポーツ・健康部会



◆ ユニバーサルマナー部会



「おもてなし英会話」実践報告 外国人講師から英語とコミュニケーションの力を学びます。



「大正小学校オリパラ体操」発表 御神輿のポーズ「わっしょい！」



駒形中学校「おもてなしガイド」発表 生徒が店員となり、英語でお好み焼きの注文をとる場面を劇で再現



「2020年に向けたオリンピック・パラリンピック教育の展望」 筑波大学体育学部長 真田久教授

